

平成27年度 決算状況				人口増減率 27.1.1 27.1.1 増減率	面積 117.84 504 km ²	59,409 62,690 人 人 -5.2%	区分	住民基本台帳人口 62,130 62,601 人 人 -0.8%	うち日本人 61,637 62,158 人 人 -0.8%	産業構造	都道府県名 香川県	団体名 観音寺市	市町村類型 地方交付税種地	II-O 1-2
歳入の状況 (単位:千円・%)										第1次 3,564 11.9 9,601 32.1 16,762 56.0	香川県		観音寺市	
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比							平成27年度(千円)		平成26年度(千円)	
地方交付税	8,473,825	31.0	8,229,137	53.6							27,310,605		29,021,698	
地方譲与税	205,557	0.8	205,557	1.3							26,547,411		27,910,959	
地子割交付金	20,758	0.1	20,758	0.1							763,194		1,110,739	
配当割交付金	55,485	0.2	55,485	0.4							150,344		319,887	
株式等譲渡所得割交付金	47,475	0.2	47,475	0.3							612,850		790,852	
地方消費税交付金	1,274,479	4.7	1,274,479	8.3							-178,002		350,585	
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-							8,704		7,610	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-							-		-	
自動車取得税交付金	44,893	0.2	44,893	0.3							-		-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-							-		-	
地方特例交付金	22,898	0.1	22,898	0.1							-		-	
地方交付税	6,117,700	22.4	5,355,752	34.9							-		-	
内 普通交付税	5,355,752	19.6	5,355,752	34.9							-		-	
内 特別交付税	761,943	2.8	-	-							-		-	
内 震災復興特別交付税	5	0.0	-	-							-		-	
(一般財源計)	16,263,070	59.5	15,256,434	99.3							-		-	
交通安全対策特別交付金	10,963	0.0	10,963	0.1							-		-	
分担金・負担金	232,472	0.9	21,793	0.1							-		-	
使手料	358,319	1.3	12,730	0.1							-		-	
国庫支出金	2,889,892	10.6	-	-							-		-	
国庫有提供交付金	-	-	-	-							-		-	
(特別区財調交付金)	-	-	-	-							-		-	
都道府県支出金	1,790,870	6.6	-	-							-		-	
財産収入	221,722	0.8	39,175	0.3							-		-	
寄附金	16,026	0.1	-	-							-		-	
繰入金	213,564	0.8	-	-							-		-	
繰越金	710,739	2.6	-	-							-		-	
繰入金	678,906	2.5	15,230	0.1							-		-	
地方債	3,774,700	13.8	-	-							-		-	
うち繰上償還(特例分)	-	-	-	-							-		-	
うち臨時財政対策債	1,136,200	4.2	-	-							-		-	
歳入合計	27,310,605	100.0	15,356,325	100.0							-		-	
性質別歳出の状況 (単位:千円・%)				目的別歳出の状況 (単位:千円・%)				区分		平成27年度(千円)		平成26年度(千円)		
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区分	決算額	構成比	(A)のうち	(A)の	基準財政収入額	7,576,173	7,266,188	
人件費	3,894,571	14.7	3,677,760	3,603,506	21.8	議会費	261,171	1.0	49	261,171	基準財政需要額等	11,958,485	11,451,858	
うち職員給与	2,306,797	8.7	2,211,773	-	-	総務費	4,620,110	17.4	1,810,743	2,172,910	標準税収入額等	9,690,048	9,386,476	
扶助費	4,295,624	16.2	1,490,827	1,471,143	8.9	衛生費	8,503,968	32.0	116,499	4,887,328	標準財政規模	16,182,048	15,960,616	
内 元利償還金	3,121,685	11.8	3,059,065	3,059,065	18.5	衛生費	2,551,165	9.6	129,037	2,281,718	財政力指数	0.63	0.63	
元金	2,771,196	10.4	2,715,639	2,715,639	16.5	労働費	45,619	0.2	-	14,636	実質収支比率(%)	3.8	5.0	
利息	349,759	1.3	342,696	342,696	2.1	農林水産業費	963,479	3.6	555,168	404,388	公債費負担比率(%)	16.7	16.5	
一時借入金	730	0.0	730	730	0.0	農林水産業費	505,768	1.9	32,998	323,410	判断実質赤字比率(%)	-	-	
(義務的経費計)	11,311,880	42.6	8,227,652	8,133,714	49.3	商工費	1,931,630	7.3	894,221	1,051,321	断全実質公債費比率(%)	10.2	11.2	
物件費	3,832,404	14.4	3,074,986	2,269,363	13.8	土木費	1,161,149	4.4	418,768	750,311	積立金高	3,042,197	2,633,493	
維持補修費	206,993	0.8	138,750	138,750	0.8	消防費	2,804,759	10.6	407,231	2,356,827	現在高	59,824	59,661	
補助費等	2,737,323	10.3	2,339,871	1,740,459	10.6	教育費	49,676	0.2	-	8,003	特定目的	4,033,783	3,855,036	
うち一部事務組合負担金	1,186,842	4.5	1,069,044	914,085	5.5	災害復旧費	3,121,685	11.8	-	3,059,065	地方債	36,034,008	35,030,504	
繰出金	3,350,965	12.6	2,878,781	2,425,396	14.7	公債	27,232	0.1	-	27,232	債務負担行為額(支出予定額)	61,753	70,602	
積立金	382,956	1.4	200,000	-	-	諸支出金	-	-	-	-	物件等購入	5,905,430	7,985,646	
投資・出資金・貸付金	310,500	1.2	-	-	-	前年度繰上充用金	-	-	-	-	保証・補償	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-	歳出合計	26,547,411	100.0	4,364,714	17,598,320	その他の	-	-	
投資的経費	4,414,390	16.6	738,280	730,277	16.6	一般会計	4,010,411	15.3	6,686	6,686	取益事業収入	-	-	
うち人件費	61,146	0.2	61,146	61,146	0.2	会館	607,751	2.3	-413,394	8,887	土地開発基金現在高	215,011	214,183	
内 普通建設事業費	4,364,714	16.4	730,277	730,277	16.4	計画	585,000	2.2	15,115	15,115	計	98.5	94.1	
うち補助	2,032,549	7.7	99,665	99,665	0.4	下水道	43,619	0.2	91	91	取現・計	98.8	95.8	
うち単独	2,219,707	8.4	599,013	599,013	2.2	業介護サービス	27,232	0.1	-	-	率年・計	98.7	96.0	
災害復旧事業費	49,676	0.2	8,003	8,003	0.0	等	850,000	3.2	-	-	純固定資産税	98.2	98.0	
失業対策事業費	-	-	-	-	-	国民健康保険	1,896,809	7.1	382	382	(%)	-	-	
歳出合計	26,547,411	100.0	17,598,320	18,361,514	100.0	その他	-	-	-	-				

(注) 1. 普通建設事業費の補助事業費には委託事業費のうち補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び委託事業費のうち単独事業費を含む。
2. 東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。
3. 産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
4. 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。
5. 面積については、調査年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況ととりまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」(国土地理院)による。
6. 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額(百円)」及び「一人当たり平均給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている。)